

東京地検 検地容疑 収賄 山田元専務から過剰接待

「防衛利権」全容解明へ

山田元専務から過剰接待
東京地検特捜部は二十八日、防衛商社「山田洋行」元専務宮崎元伸容疑者(69)から装備品納入で有利な取り計らいを期待された上で、過剰なゴルフ接待などを受けていたとして、収賄容疑で前防衛事務次官守屋武昌容疑者(63)と東京都新宿区を逮捕した。

「防衛利権」全容解明へ

防衛装備品納入をめぐる癒着疑惑は、防衛省きつての実力者とされた事

務方元トップの逮捕に発展。特捜部は航空自衛隊次期輸送機(CX)のエンジン発注をめぐる便宜供与の有無など、巨額の防衛利権をめぐる疑惑の全容解明を目指す。

守屋容疑者は、宮崎容疑者が山田洋行を退社し、防衛商社「日本ミライズ」設立後の今年四月まで三百回以上、ゴルフ接待を受けていたとされる。中には、北海道や九州などへ宮崎容疑者側が

山田洋行 航空、防衛産業の専門商社。2006年度まで5年間の防衛省からの受注は、地方分を除き総額約174億円。経営を担ってきた元専務宮崎元伸容疑者と、守屋武昌前防衛事務次官との長年の癒着が表面化。米津佳彦社長は参院の参考人質疑でゴルフは

300回を超え、費用が1500万円以上になると明かした。また海上自衛隊の救難飛行艇に使用する整備器材など2件の契約で代金の水増し請求が発覚。防衛省は米国子会社「ヤマダインターナショナルコーポレーション」とともに取引停止処分にした。



自宅を出てタクシーに乗る守屋前防衛事務次官

28日午前10時5分、東京都新宿区